

2020年度 第3四半期決算説明資料

2021年1月13日

株式会社 **乃村工藝社**



1. 2020年度 第3四半期決算概要
2. 2020年度 第3四半期決算補足資料
3. 当社グループの概要

将来の見通しに関する注意事項

記載されている業績予想などの将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報にもとづき、当社が合理的と判断したものです。潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の成果や業績は記載の予想と異なる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

1. 2020年度 第3四半期決算概要

2020年度第3四半期 連結業績ハイライト

- 新型コロナウイルス感染症拡大による、受注活動の停滞および工期の変更などにより商業施設や観光関連施設などで大型案件の完工が減少、展示会・イベント案件も減少し、前年同期比で減収となった。
- 固定費の削減に取り組んだが、売上高の減少にともない、前年同期に比べ減益となった。

(百万円)	2019年度		2020年度		
	3Q	対売上高 構成比	3Q	対売上高 構成比	前年同期比
売上高	103,888	100.0%	72,163	100.0%	△31,725 (△30.5%)
売上総利益	21,131	20.3%	13,554	18.8%	△7,576 (△35.9%)
営業利益	7,932	7.6%	1,528	2.1%	△6,403 (△80.7%)
経常利益	8,056	7.8%	1,638	2.3%	△6,418 (△79.7%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,520	5.3%	739	1.0%	△4,780 (△86.6%)

売上高・売上総利益

① 売上高

	2019年度3Q	2020年度3Q	前年同期比
売上高	103,888百万円	72,163百万円	△31,725百万円 (△30.5%)

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、専門店やホテル、テーマパークなどの改装需要が減少、また、展示会・イベントの中止や規模縮小に加え、前年同期に比べ大型案件の完工が減少したことから大幅な減収となった。

② 売上総利益

	2019年度3Q	2020年度3Q	前年同期比
売上総利益	21,131百万円	13,554百万円	△7,576百万円 (△35.9%)
<売上総利益率>	20.3%	18.8%	△1.5ポイント

- 売上総利益率は、減収の影響ならびに採算性の高い大型案件の減少、また新型コロナウイルス感染症拡大の影響による飲食・物販事業の利益率低下により、前年同期に比べ1.5ポイント低下し18.8%となった。

営業利益

① 販売管理費

	2019年度3Q	2020年度3Q	前年同期比
人件費	8,296百万円	7,406百万円	△890百万円 (△10.7%)
経費	4,901百万円	4,619百万円	△282百万円 (△5.8%)
販売管理費	13,198百万円	12,025百万円	△1,172百万円 (△8.9%)
<販売管理費比率>	12.7%	16.7%	+4.0ポイント

■ 販売管理費は、在宅勤務の対応にともなう残業費の減少などによる人件費減、ならびに営業費、広告宣伝費などの減少にともなう経費減により8.9%減少、販売管理費比率は大幅な減収の影響により、4.0ポイント上昇し16.7%となった。

② 営業利益

	2019年度3Q	2020年度3Q	前年同期比
営業利益	7,932百万円	1,528百万円	△6,403 百万円 (△80.7%)

■ 営業利益は、販売管理費が減少した一方、売上総利益が7,576百万円減少したことにより、前年同期に比べ80.7%の減益となった。

経常利益

① 営業外損益

	2019年度3Q	2020年度3Q	前年同期比
営業外収益	135百万円	125百万円	△10百万円
営業外費用	12百万円	16百万円	+4百万円

- 営業外収益は、受取配当金の減少などにより減少した。
- 営業外費用は、為替差損の計上により増加した。

② 経常利益

	2019年度3Q	2020年度3Q	前年同期比
経常利益	8,056百万円	1,638百万円	△6,418百万円 (△79.7%)

- 経常利益は、営業利益の減少にともない前年同期に比べ79.7%の減益となった。

四半期純利益

① 特別損益

	2019年度3Q	2020年度3Q	前年同期比
特別利益	81百万円	0百万円	△80百万円
特別損失	12百万円	147百万円	+135百万円

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響にともない、飲食・物販事業における店舗の臨時休業期間中の固定費を特別損失に計上した。

② 法人税等・四半期純利益

	2019年度3Q	2020年度3Q	前年同期比
法人税等	2,595百万円	758百万円	△1,837百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,520百万円	739百万円	△4,780百万円 (△86.6%)

- 法人税等は、利益の減少にともない減少した。
- 四半期純利益は、経常利益の減少、特別損失の計上にともない前年同期に比べ86.6%の減益となった。

市場分野別の売上高

- 店舗出店、改装等の需要が減少した専門店市場、百貨店・量販店市場、ならびに展示会・イベントの中止や規模縮小があった広報・販売促進市場などが減収となった。
- また、前年同期に比べ、大型案件の完工が減少した博物館・美術館市場、その他市場が減収となった。

	2019年度3Q 売上高		売上 総利益率	2020年度3Q 売上高		売上 総利益率
	金額(百万円)	前年同期比		金額(百万円)	前年同期比	
専門店市場	26,374	△4.9%	↓18.6%	19,693	△ 25.3%	↑ 20.4%
百貨店・量販店市場	4,442	+2.6%	↓24.7%	2,504	△ 43.6%	↓ 21.2%
複合商業施設市場	11,550	+30.1%	↓19.4%	8,755	△ 24.2%	↓ 17.9%
広報・販売促進市場	12,906	△2.0%	↓21.7%	10,721	△ 16.9%	↓ 19.1%
博物館・美術館市場	7,862	+22.6%	↓19.4%	5,625	△ 28.4%	↑ 20.0%
余暇施設市場	9,684	+53.5%	↑18.8%	8,766	△ 9.5%	↓ 13.6%
博覧会・イベント市場	2,409	+423.2%	↑27.8%	1,297	△ 46.1%	↓ 21.3%
その他市場	26,727	+123.0%	↑21.3%	14,243	△ 46.7%	↓ 20.8%
ディスプレイ事業 小計	101,957	+28.6%	↓20.3%	71,608	△ 29.8%	↓ 18.9%
飲食・物販事業	1,931	+11.5%	↑20.8%	555	△ 71.2%	↓ 7.7%
合 計	103,888	+28.3%	↓20.3%	72,163	△ 30.5%	↓ 18.8%

市場分野別の受注高・受注残高

- 受注高は、受注活動が停滞したことや、商業施設分野をはじめ、広報・販売促進市場、その他市場において、各企業の投資が控えられ需要が減退したことにより、減少となった。
- 受注残高は、博物館、ホテル、オフィスなどの大型案件、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連などの手持ち案件が多数あるものの、受注高の減少により減少となった。

	2019年度3Q		2020年度3Q		受注高 前年同期比	受注残高 前年同期比
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)		
専門店市場	30,741	12,308	15,518	6,134	△49.5%	△50.2%
百貨店・量販店市場	4,223	1,320	1,624	668	△61.5%	△49.4%
複合商業施設市場	10,808	7,972	6,717	4,848	△37.8%	△39.2%
広報・販売促進市場	17,775	10,003	6,091	6,180	△65.7%	△38.2%
博物館・美術館市場	9,350	8,046	7,272	9,707	△22.2%	+20.6%
余暇施設市場	14,386	14,687	5,888	7,749	△59.1%	△47.2%
博覧会・イベント市場	9,235	8,405	4,855	12,696	△47.4%	+51.0%
その他市場	24,750	17,425	18,667	18,002	△24.6%	+3.3%
合 計	121,272	80,169	66,636	65,986	△45.1%	△17.7%

(注) 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載していません

2020年度 連結業績予想

- 当期の売上高に対する新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、300億円前後の減収と試算、利益面では売上高減少および稼働率の低下、また需要減少による価格競争の影響等を踏まえ、利益率の低下を想定。
- 第4四半期は、博物館、オフィスなどの大型案件を完工予定、プロジェクト管理、利益管理を徹底し推進。

(百万円)	2019年度			2020年度(予想)		
	通期	対売上高 構成比	前期比	通期	対売上高 構成比	前期比
売上高	143,689	100.0%	+14.2%	120,000	100.0%	△16.5%
営業利益	11,086	7.7%	+21.1%	5,000	4.2%	△54.9%
経常利益	11,242	7.8%	+20.3%	5,100	4.3%	△54.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,795	5.4%	+15.6%	3,000	2.5%	△61.5%
1株当たり配当金	32.00円 (記念配当2円を含む)	—	+6.00円 [※]	25.00円	—	△7.00円

※ 2019年6月1日付で1:2の株式分割を実施。前期比は、当該株式分割を考慮した2018年度の1株当たり配当金にて算出

2. 2020年度 第3四半期決算補足資料

【前期末比較】連結貸借対照表

		2019年度末		2020年度3Q末				ポイント
		金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	前期末比		
資 産	流動資産	74,701	82.4%	62,424	79.6%	△12,277	△16.4%	売掛金が減少したことにより122億77百万円減少。
	固定資産	15,993	17.6%	16,004	20.4%	+10	+0.1%	保有株式の時価が減少した一方、システム投資にともなう無形固定資産が増加したことなどにより10百万円増加。
	資産合計	90,694	100.0%	78,428	100.0%	△12,266	△13.5%	
負 債 純 資 産	流動負債	37,453	41.3%	28,196	36.0%	△9,256	△24.7%	大型工事の前受金が増加した一方、支払手形及び買掛金の減少などにより92億56百万円減少。
	固定負債	5,449	6.0%	5,398	6.8%	△50	△0.9%	退職給付に係る負債の減少などにより50百万円減少。
	負債合計	42,902	47.3%	33,595	42.8%	△9,307	△21.7%	
	純資産	47,792	52.7%	44,832	57.2%	△2,959	△6.2%	配当金の支払いなどにより29億59百万円減少。
	負債純資産合計	90,694	100.0%	78,428	100.0%	△12,266	△13.5%	

【前年同期比較】連結損益計算書

第3四半期	2019年度		2020年度				ポイント
	金額 (百万円)	対売上高 構成比	金額 (百万円)	対売上高 構成比	前年同期比		
売上高	103,888	100.0%	72,163	100.0%	△31,725	△30.5%	専門店市場、百貨店・量販店市場、 その他市場などの売上高が大きく減少 し減収。
売上総利益	21,131	20.3%	13,554	18.8%	△7,576	△35.9%	売上高の減少、ならびに売上総利益 率が1.5ポイント低下したことにより減益。
販売管理費	13,198	12.7%	12,025	16.7%	△1,172	△8.9%	残業費の削減などによる人件費減、 行動費の減少などによる経費減により 減少。
営業利益	7,932	7.6%	1,528	2.1%	△6,403	△80.7%	売上高減、売上総利益率低下による 売上総利益の減少にともない減益。
経常利益	8,056	7.8%	1,638	2.3%	△6,418	△79.7%	営業利益の減少により減益。
特別利益	81	0.0%	0	0.0%	△80	△99.3%	
特別損失	12	0.0%	147	0.2%	+135	+1,104.8%	新型コロナウイルス感染症拡大の影響 にともない、飲食・物販事業における店 舗の臨時休業期間中の固定費を特別 損失に計上。
親会社株主に帰属する 四半純利益	5,520	5.3%	739	1.0%	△4,780	△86.6%	経常利益の減少により減益。

【前年同期比較】市場分野別 売上高・売上総利益率

第3四半期	2019年度			2020年度			ポイント
	売上高		売上 総利益率	売上高		売上 総利益率	
	金額 (百万円)	前年 同期比		金額 (百万円)	前年 同期比		
専門店市場	26,374	△4.9%	↓18.6%	19,693	△25.3%	↑20.4%	アパレル店舗、化粧品ブランド店舗などを手掛けたが、店舗出店、改装需要が減少、大型案件少なく減収。
百貨店・量販店市場	4,442	+2.6%	↓24.7%	2,504	△43.6%	↓21.2%	百貨店の各種催事案件、改装需要が減少したことなどにより減収。
複合商業施設市場	11,550	+30.1%	↓19.4%	8,755	△24.2%	↓17.9%	大型案件の完工減少により減収。
広報・販売促進市場	12,906	△2.0%	↓21.7%	10,721	△16.9%	↓19.1%	自動車メーカーのPR施設の大型案件などを手掛けたが、展示会・イベントの中止、規模縮小により減収。
博物館・美術館市場	7,862	+22.6%	↓19.4%	5,625	△28.4%	↑20.0%	前年同期は科学館の大型案件の計上があったことなどにより減収。
余暇施設市場	9,684	+53.5%	↑18.8%	8,766	△9.5%	↓13.6%	ホテル、テーマパークの大型案件が減少し減収。
博覧会・イベント市場	2,409	+423.2%	↑27.8%	1,297	△46.1%	↓21.3%	前年同期は、公共の大型イベントの計上があったことなどにより減収。
その他市場	26,727	+123.0%	↑21.3%	14,243	△46.7%	↓20.8%	前年同期は、オフィスの大型案件の計上があったことなどにより減収。
ディスプレイ事業 小計	101,957	+28.6%	↓20.3%	71,608	△29.8%	↓18.9%	
飲食・物販事業	1,931	+11.5%	↑20.8%	555	△71.2%	↓7.7%	新型コロナウイルス感染症拡大の影響にともなう運営店舗の臨時休業・営業時間短縮により減収。
合計	103,888	+28.3%	↓20.3%	72,163	△30.5%	↓18.8%	

【前年同期比較】市場分野別 売上高・受注高・受注残高

■ 合計

(百万円)

第3四半期	2019年度	2020年度	前年同期比	
売上高	103,888	72,163	△31,725	△30.5%
受注高	121,272	66,636	△54,635	△45.1%
受注残高	80,169	65,986	△14,182	△17.7%

第3四半期	2019年度	2020年度	前年同期比	
■ 専門店市場				
売上高	26,374	19,693	△6,680	△25.3%
受注高	30,741	15,518	△15,223	△49.5%
受注残高	12,308	6,134	△6,173	△50.2%
■ 百貨店・量販店市場				
売上高	4,442	2,504	△1,937	△43.6%
受注高	4,223	1,624	△2,599	△61.5%
受注残高	1,320	668	△652	△49.4%
■ 複合商業施設市場				
売上高	11,550	8,755	△2,795	△24.2%
受注高	10,808	6,717	△4,090	△37.8%
受注残高	7,972	4,848	△3,124	△39.2%
■ 広報・販売促進市場				
売上高	12,906	10,721	△2,184	△16.9%
受注高	17,775	6,091	△11,684	△65.7%
受注残高	10,003	6,180	△3,822	△38.2%

第3四半期	2019年度	2020年度	前年同期比	
■ 博物館・美術館市場				
売上高	7,862	5,625	△2,236	△28.4%
受注高	9,350	7,272	△2,078	△22.2%
受注残高	8,046	9,707	+1,660	+20.6%
■ 余暇施設市場				
売上高	9,684	8,766	△917	△9.5%
受注高	14,386	5,888	△8,497	△59.1%
受注残高	14,687	7,749	△6,938	△47.2%
■ 博覧会・イベント市場				
売上高	2,409	1,297	△1,111	△46.1%
受注高	9,235	4,855	△4,379	△47.4%
受注残高	8,405	12,696	+4,290	+51.0%
■ その他市場				
売上高	26,727	14,243	△12,484	△46.7%
受注高	24,750	18,667	△6,083	△24.6%
受注残高	17,425	18,002	+577	+3.3%

【四半期推移】業績サマリー

(百万円)

	2019年度				2020年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	31,489	39,235	33,164	39,801	25,997	27,722	18,442	
売上総利益	6,539	8,372	6,219	7,850	5,442	4,917	3,195	
売上総利益率	20.8%	21.3%	18.8%	19.7%	20.9%	17.7%	17.3%	
販売管理費	3,950	4,368	4,879	4,696	4,049	3,895	4,081	
販売管理費比率	12.6%	11.1%	14.7%	11.8%	15.5%	14.1%	22.1%	
営業利益（損失）	2,588	4,003	1,340	3,153	1,392	1,021	△885	
営業利益率	8.2%	10.2%	4.0%	7.9%	5.4%	3.7%	-	
経常利益（損失）	2,657	4,036	1,363	3,185	1,439	1,047	△848	
経常利益率	8.4%	10.3%	4.1%	8.0%	5.5%	3.8%	-	
親会社株主に帰属する 四半期純利益（損失）	1,709	2,807	1,002	2,274	766	640	△668	
親会社株主に帰属する 四半期純利益率	5.4%	7.2%	3.0%	5.7%	3.0%	2.3%	-	
受注高	42,981	35,752	42,538	29,988	21,887	21,541	23,207	
受注残高	72,982	70,165	80,169	70,960	66,947	60,961	65,986	

【四半期推移】 市場分野別 売上高

(百万円)

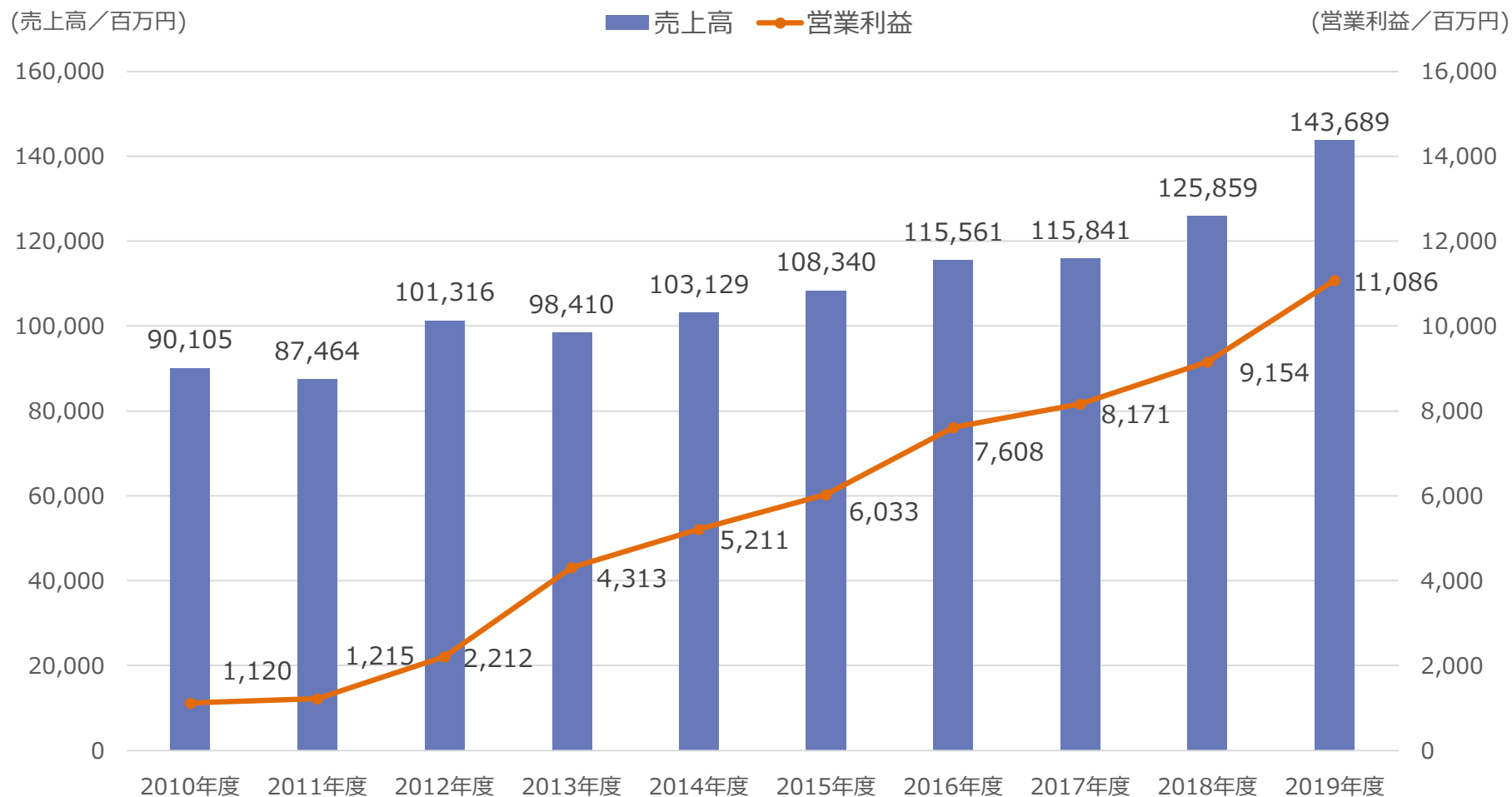
	2019年度				2020年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
専門店市場	7,029	7,552	11,791	11,405	7,676	7,107	4,909	
百貨店・量販店市場	1,429	1,436	1,576	1,888	911	687	905	
複合商業施設市場	3,361	4,427	3,761	5,516	3,263	3,409	2,082	
広報・販売促進市場	5,037	3,611	4,258	5,373	2,671	6,303	1,746	
博物館・美術館市場	2,457	4,088	1,316	2,061	3,322	1,396	906	
余暇施設市場	5,065	2,997	1,621	5,231	4,234	2,257	2,273	
博覧会・イベント市場	325	1,917	166	357	147	770	379	
その他市場	6,147	12,537	8,042	7,364	3,673	5,594	4,975	
ディスプレイ事業 小計	30,853	38,569	32,534	39,197	25,900	27,527	18,179	
飲食・物販事業	636	665	629	603	96	195	262	
合 計	31,489	39,235	33,164	39,801	25,997	27,722	18,442	

【四半期推移】 市場分野別 受注高・受注残高

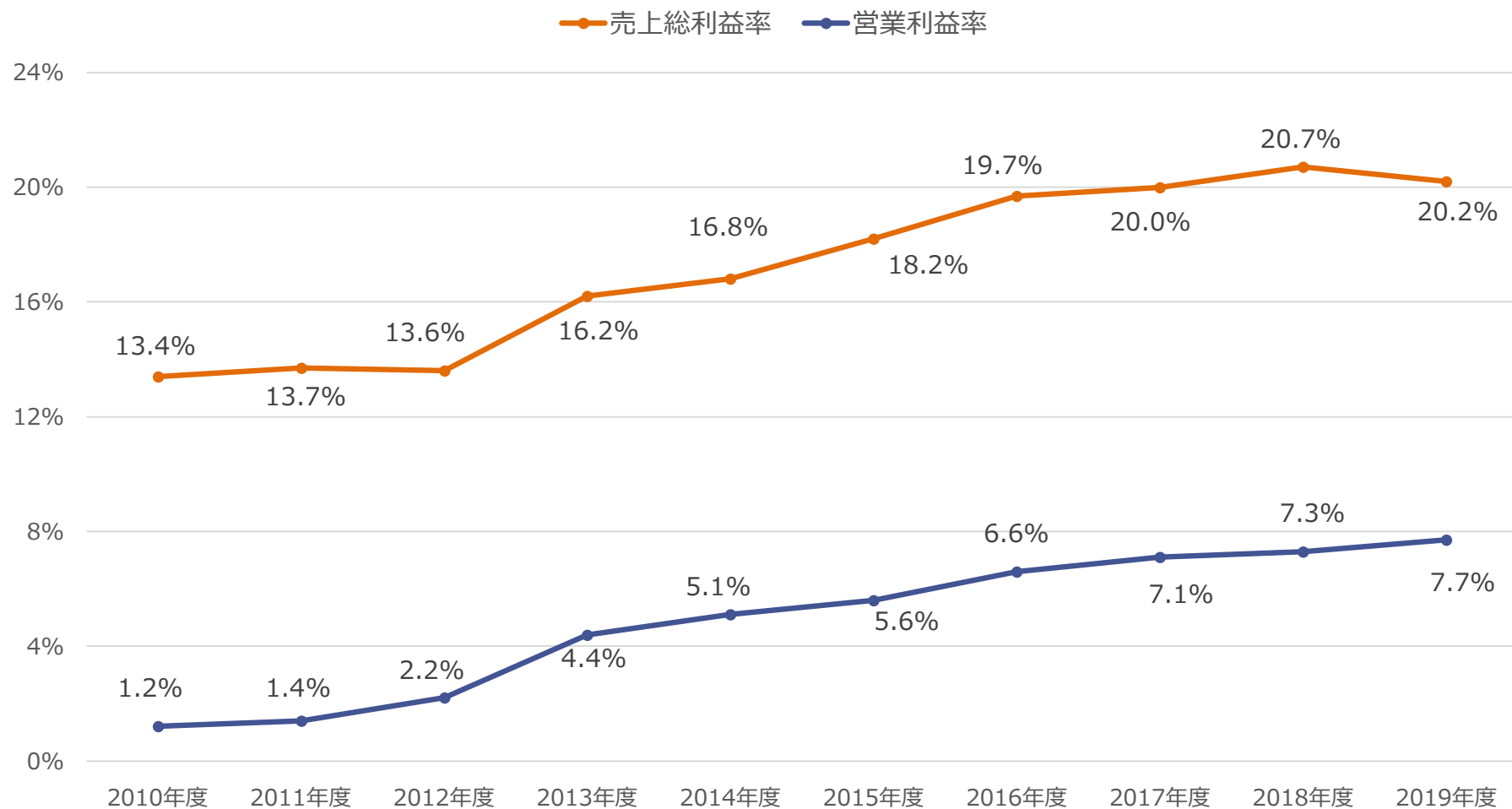
(百万円)

	2019年度				2020年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
■ 受注高								
専門店市場	9,163	9,866	11,711	9,407	4,401	4,757	6,359	
百貨店・量販店市場	1,508	1,609	1,105	2,116	324	563	737	
複合商業施設市場	3,261	3,989	3,558	4,429	2,347	1,719	2,650	
広報・販売促進市場	4,689	4,099	8,987	6,180	1,845	2,325	1,921	
博物館・美術館市場	5,171	1,893	2,285	2,075	3,629	2,230	1,411	
余暇施設市場	2,311	6,731	5,342	1,170	1,013	2,371	2,503	
博覧会・イベント市場	8,425	555	253	1,089	1,750	983	2,122	
その他市場	8,449	7,006	9,294	3,519	6,574	6,589	5,502	
合計	42,981	35,752	42,538	29,988	21,887	21,541	23,207	
■ 受注残高								
専門店市場	10,125	12,388	12,308	10,309	7,035	4,684	6,134	
百貨店・量販店市場	1,617	1,791	1,320	1,547	960	836	668	
複合商業施設市場	8,563	8,175	7,972	6,885	5,969	4,280	4,848	
広報・販売促進市場	4,786	5,274	10,003	10,810	9,984	6,006	6,180	
博物館・美術館市場	9,272	7,077	8,046	8,060	8,368	9,202	9,707	
余暇施設市場	7,231	10,966	14,687	10,626	7,405	7,519	7,749	
博覧会・イベント市場	9,680	8,318	8,405	9,138	10,741	10,953	12,696	
その他市場	21,704	16,173	17,425	13,580	16,482	17,477	18,002	
合計	72,982	70,165	80,169	70,960	66,947	60,961	65,986	

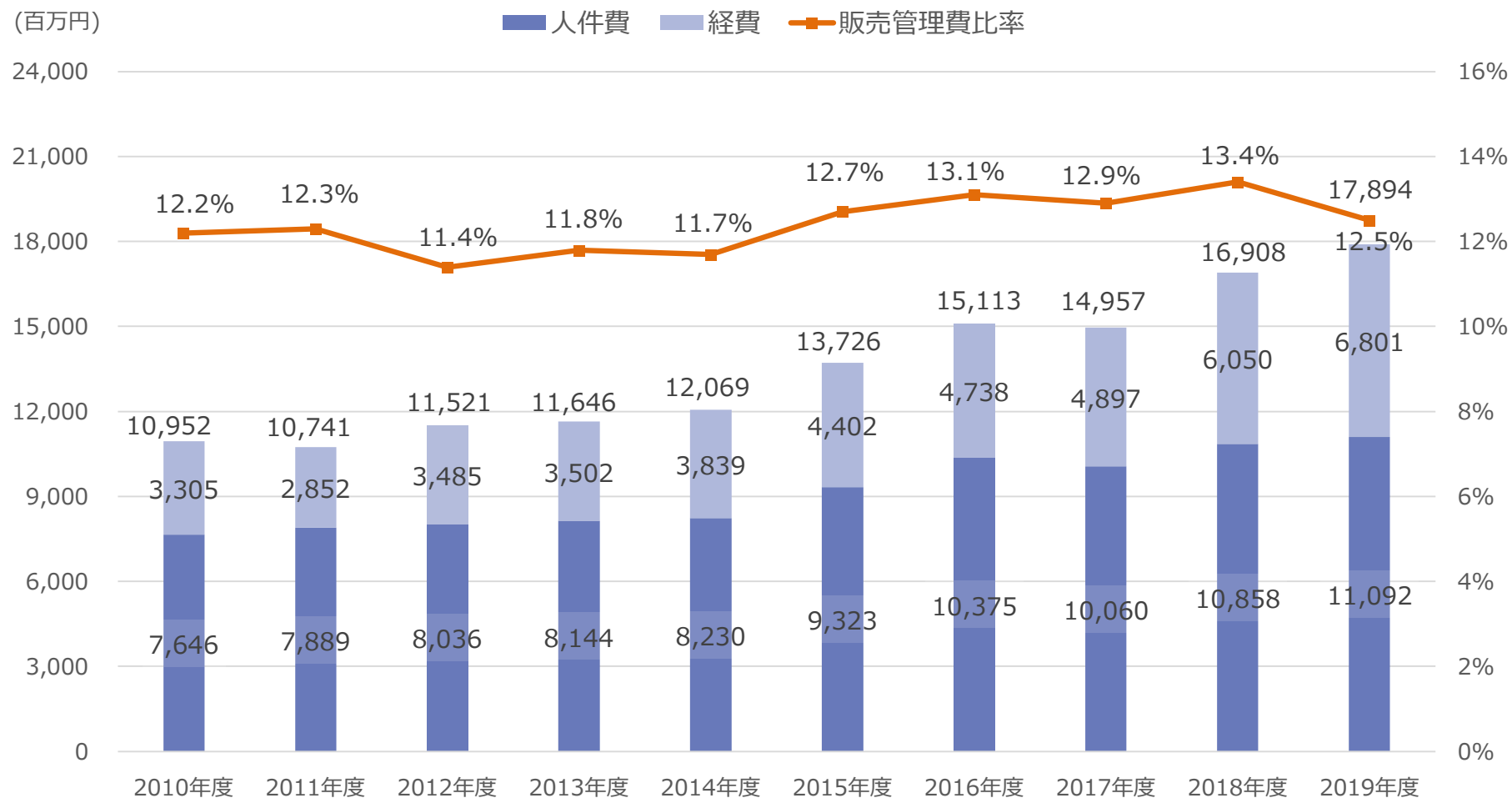
【通期推移】 売上高・営業利益



【通期推移】 売上総利益率・営業利益率



【通期推移】 販売管理費・販売管理費比率

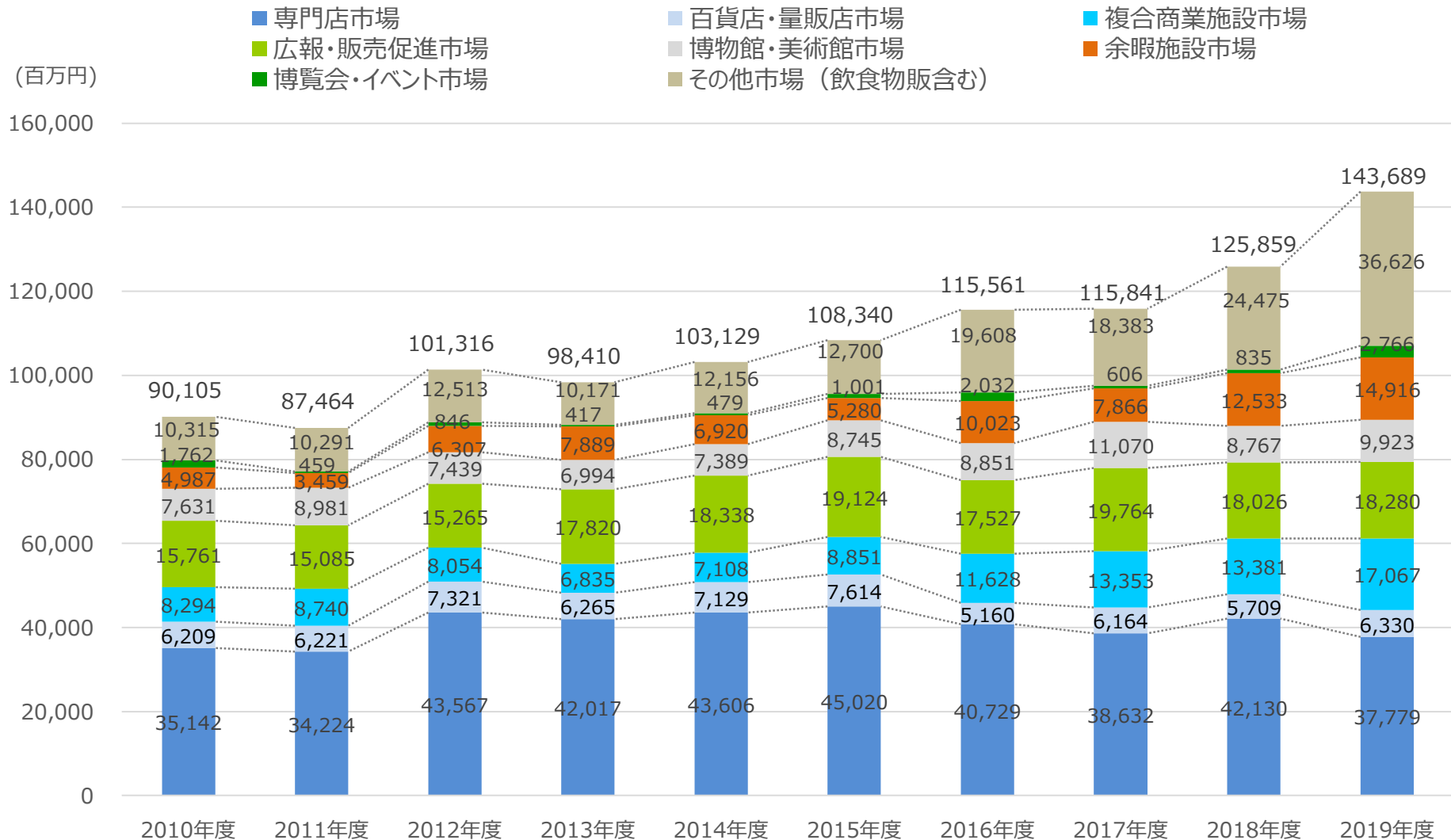


【通期推移】 受注高・受注残高



(注) 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載していません。

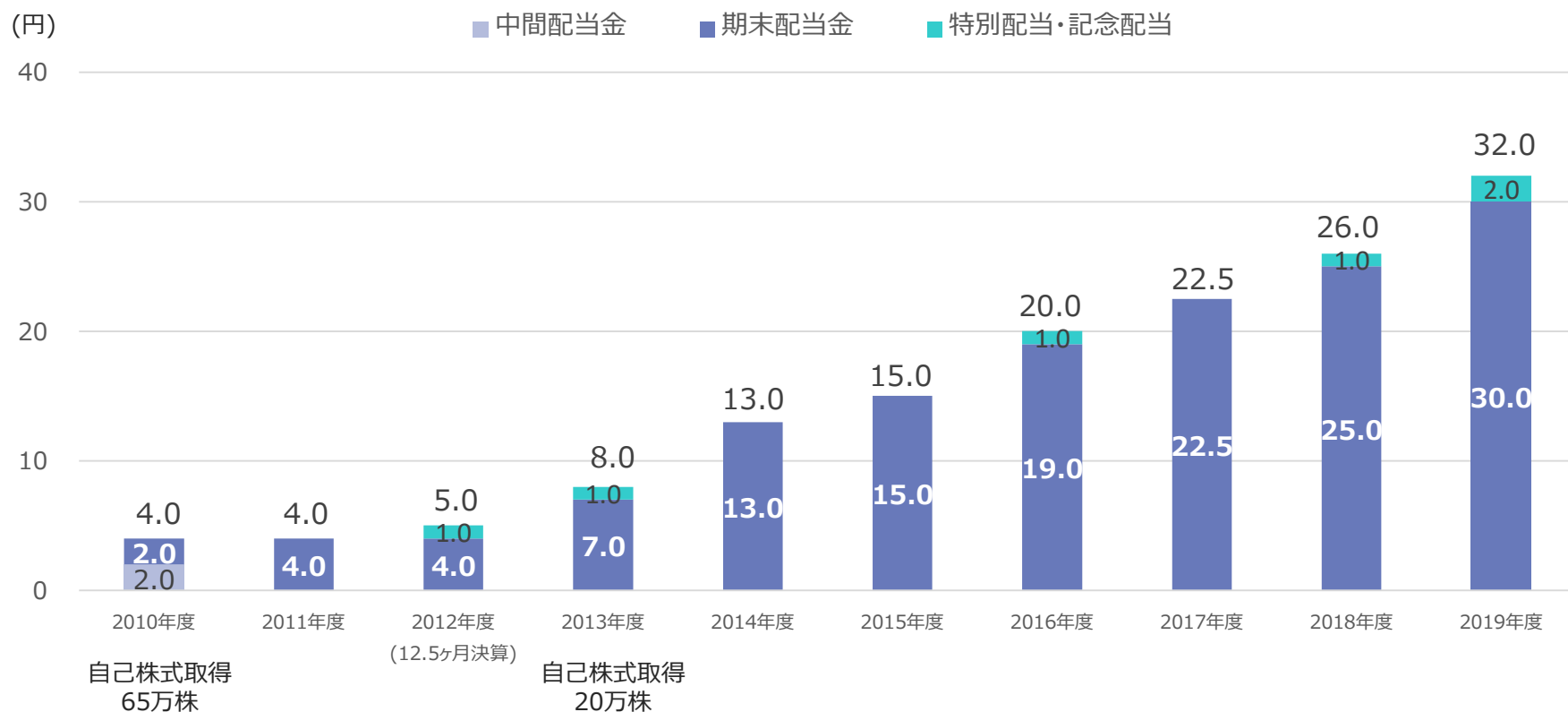
【通期推移】 市場分野別 売上高



(注) 飲食・物販事業はその他市場に含み、掲載しています。

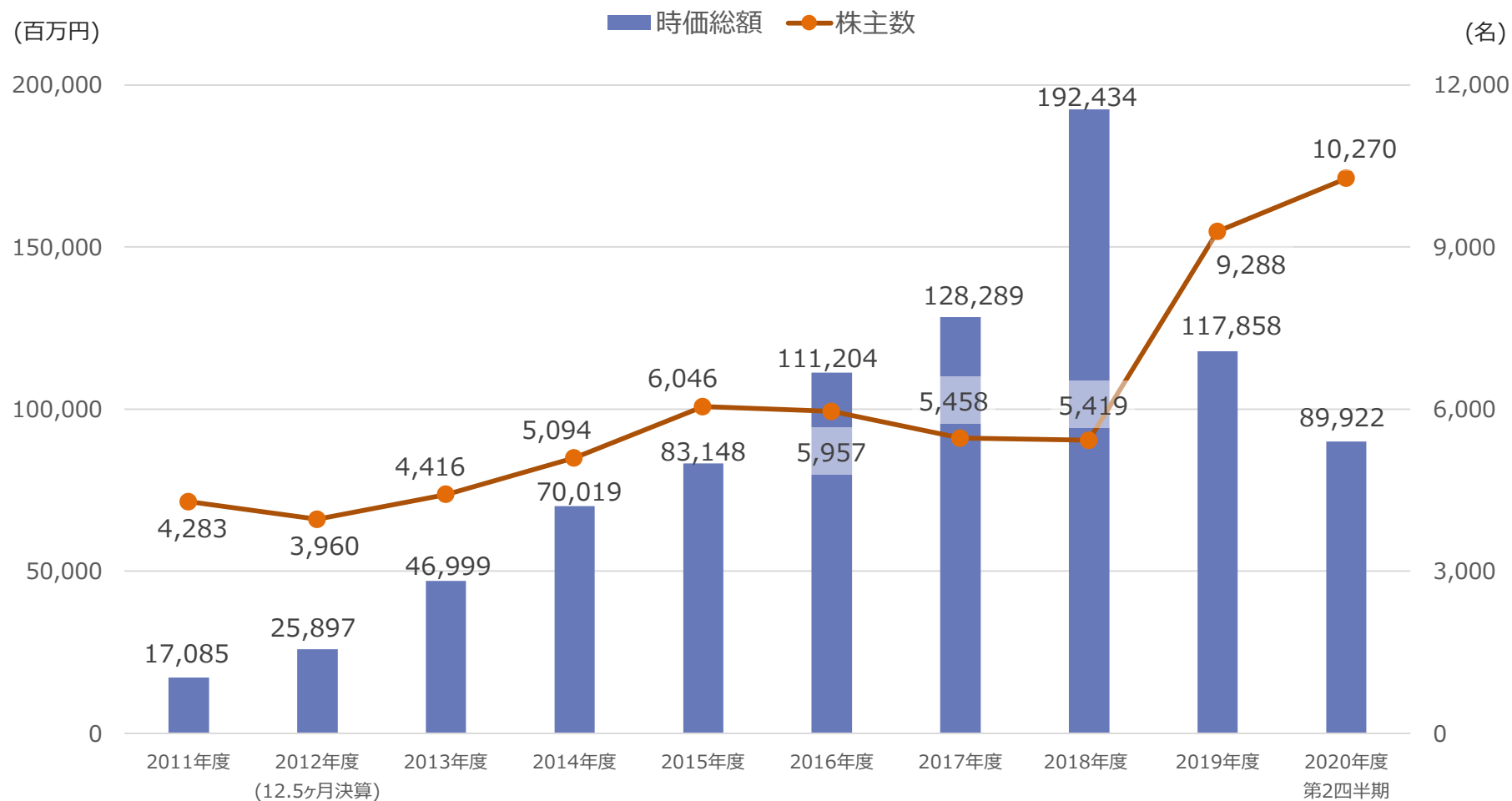
【株式情報】株主還元策と配当金の推移

※2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施。下記は2010年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して配当金、株価を算定。



配当性向	111.6%	73.9%	44.9%	48.4%	45.3%	43.4%	44.0%	44.4%	42.9%	45.7%
株価最高値	184.0円	174.0円	221.0円	526.0円	608.0円	966.0円	995.0円	1,324.0円	1,667.5円	1,670.0円
株価最安値	101.0円	100.5円	114.0円	213.0円	332.5円	551.0円	663.5円	901.5円	1,017.5円	961.0円

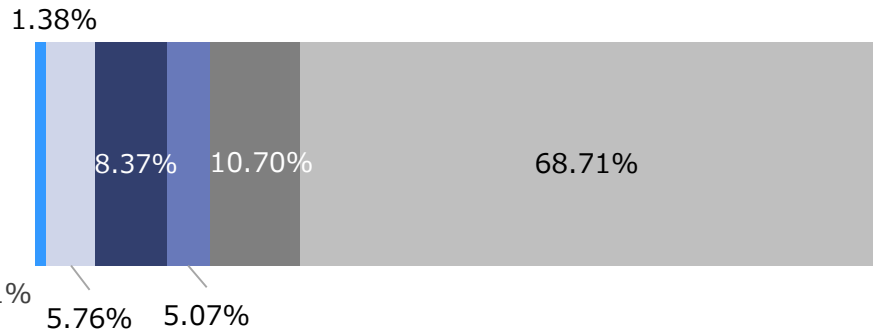
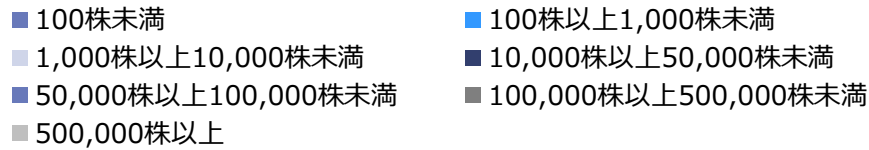
【株式情報】 時価総額と株主数の推移



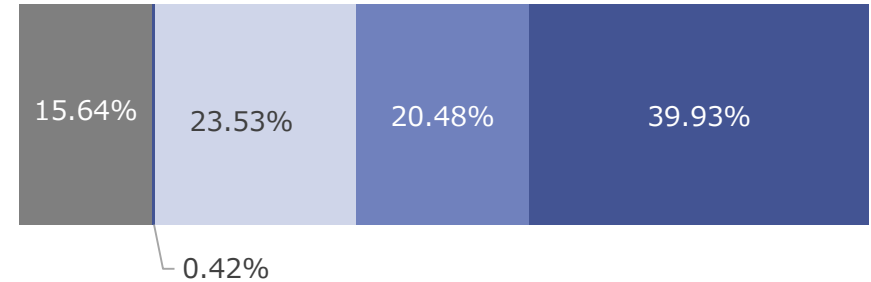
※各年度末における時価総額、株主数

【株式情報】株主構成 (2020年8月31日現在)

■ 所有株数別株式の分布状況



■ 所有者別株式の分布状況



100株未満	1,141名	9,452株
100株以上1,000株未満	6,012名	1,652,190株
1,000株以上10,000株未満	2,452名	6,910,613株
10,000株以上50,000株未満	472名	10,040,256株
50,000株以上100,000株未満	87名	6,074,163株
100,000株以上500,000株未満	67名	12,826,717株
500,000株以上	39名	82,383,197株
	10,270名	119,896,588株

外国人	216名	18,756,203株
証券会社	35名	497,830株
金融機関	33名	28,212,880株
その他法人	175名	24,559,404株
個人・その他	9,811名	47,870,271株
	10,270名	119,896,588株

(注) 上記の分布状況はいずれも自己株式数を含んでいます。

3. 当社グループの概要

われわれは、人間尊重に立脚し
新しい価値の創造によって
豊かな人間環境づくりに貢献する

ノムラのいう人間尊重とは

ノムラは、生活者である人間の多様な価値観に対応し、快い生活環境を創造する。
また、ノムラは社員の人間性を基盤にして、働きがいのある自己実現の場をつくりあげる。

ノムラのいう新しい価値の創造とは

ノムラは、人と人、人との、人と情報が交流する新たな機能と可能性を追求し、最適な
集客貢献と空間創造を実現する。

ノムラが目指す企業像とは

ノムラのおくりだすものは、人間環境の質的向上をはかる生活文化そのものである。
ノムラはこの仕事を通じて、環境創造産業のリーダーとなる。

会社概要

創 業 1892年(明治25年) 3月
設 立 1942年(昭和17年) 12月
上 場 市 場 東証 1部(9716)
資 本 金 64億97百万円
売 上 高 1,436億円89百万円(2019年度)
従 業 員 数 (2020年2月末日現在)

乃村グループ全従業員2,558名(契約社員含む)
 連結1,956名(正社員) 単体1,311名(正社員)

連結子会社 グループ会社10社

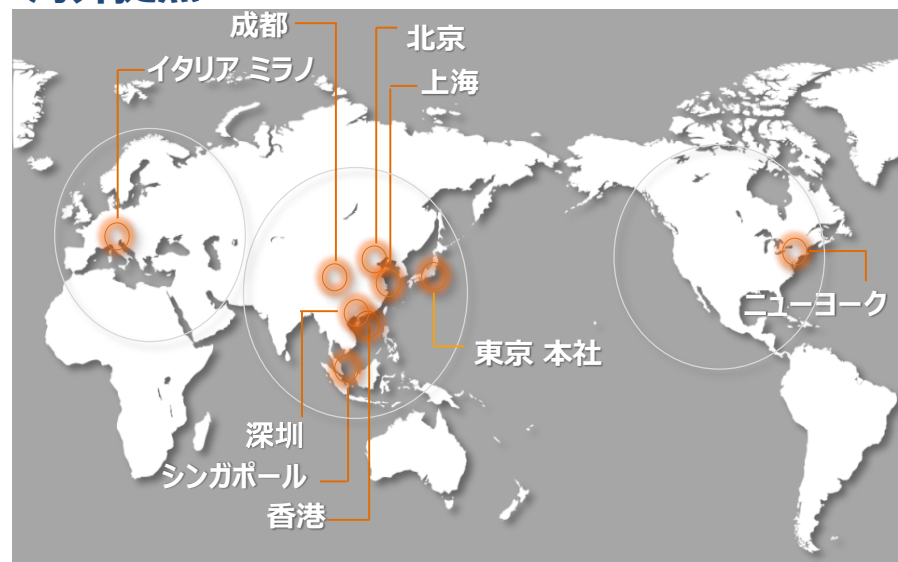
事業内容

ディスプレイ業 (※ 総務省 日本標準産業分類で定める事業)
 集客環境づくりの調査・コンサルティング、企画・デザイン、
 設計、制作施工ならびに各種施設・イベントの活性化、
 運営管理

国内拠点



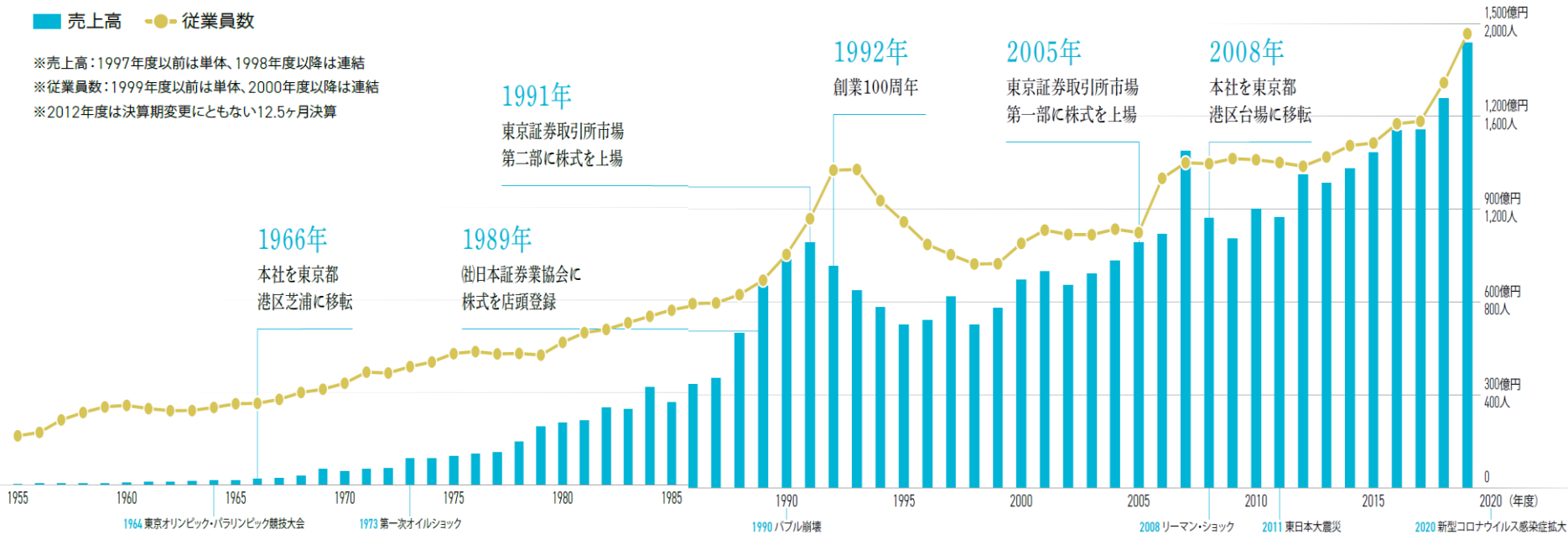
海外拠点



乃村工藝社の歴史

■ 売上高 ● 従業員数

※売上高：1997年度以前は単体、1998年度以降は連結
 ※従業員数：1999年度以前は単体、2000年度以降は連結
 ※2012年度は決算期変更にともない12.5ヶ月決算



1892年

乃村泰資が
高松で創業、
芝居小屋の
大道具方として活躍



創業者 乃村泰資

1892年～1945年

大衆娯楽から博覧会・
展示装飾への展開
イベント（菊人形・国技館や
靖国神社の催し・博覧会）・百貨店



両国国技館菊人形（十二段返し）
1924年頃

1945年～1969年

経営近代化の始動と
ディスプレイ業の確立
百貨店・博覧会・美術展・
遊園地



高島屋大飯店の店頭装飾
1947年

1970年～1989年

事業拡大と
経営基盤の強化
万国博覧会・商業施設・博物館・
展示会・企業PR館・ショールーム



日本万国博覧会
1970年

1990年～2012年

市場環境の変動を超えて「選ばれるノムラ」へ
ブランドストア・チェーンストア・集客装置・指定管理者と運営事業・まちづくり



日テレ大時計（空崎駿デザイン）
2006年



東京ソラマチ®
2012年

2013年～現在

Prosperity Partner
お客様の事業繁栄を実現するパートナーとして
複合商業施設・ホテル・テーマパーク・オフィス・
地域創生・デジタル分野

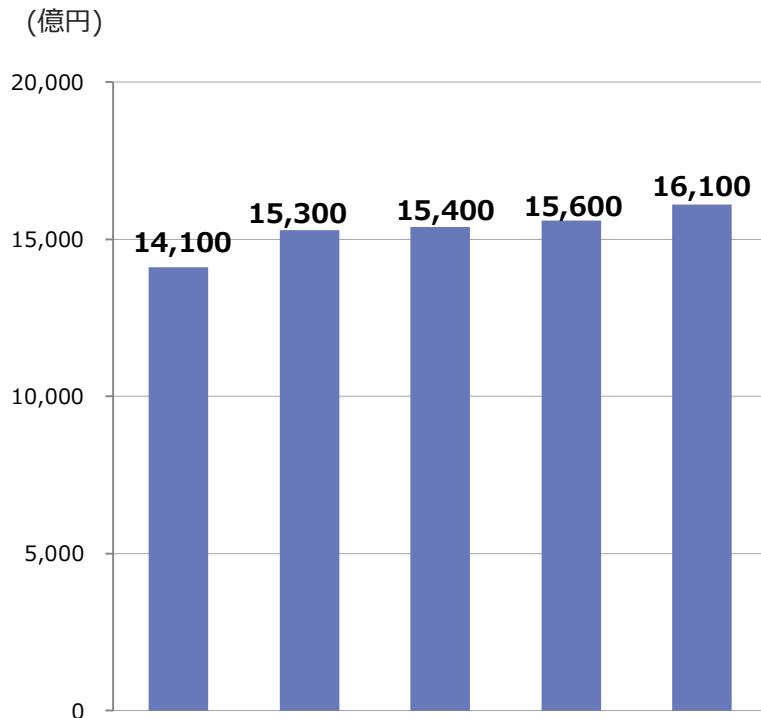


日本オリンピックミュージアム
（電通・乃村工藝社・電通ライブ コンソーシアム） 2019年

ディスプレイ業界を取り巻く市場環境

■ディスプレイ業界の市場規模

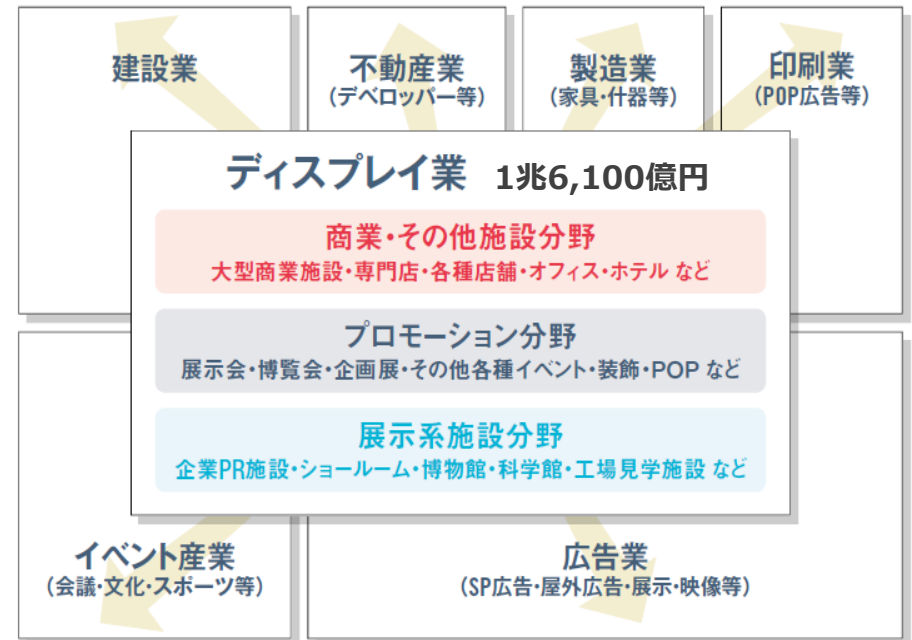
緩やかに拡大し、2018年度は1兆6,100億円



出典：(株)矢野経済研究所

■ディスプレイ業界の市場領域とそれを取り巻く業界

建設業、不動産業や広告業、イベント産業などの業界と密接に関係



ディスプレイ業界の市場シェア

売上を拡大し、業界トップシェアを堅持

【ディスプレイ業界上位30社の売上合計に占める上位10社の占有率】

2011年度				2015年度				2019年度			
順位	社名	売上高	占有率	順位	社名	売上高	占有率	順位	社名	売上高	占有率
		(百万円)				(百万円)				(百万円)	
1	乃村工藝社	87,464	15.0%	1	乃村工藝社	108,340	14.5%	1	乃村工藝社	143,689	16.5%
2	丹青社	52,049	8.9%	2	丹青社	67,612	9.0%	2	丹青社	81,678	9.4%
3	スペース	32,970	5.7%	3	スペース	51,371	6.9%	3	スペース	50,151	5.8%
4	J.フロント建装	29,261	5.0%	4	J.フロント建装	38,714	5.2%	4	J.フロント建装	44,819	5.1%
5	ゼニヤ（現・ジーク）	26,086	4.5%	5	三越伊勢丹パロパティデザイン	34,138	4.6%	5	シミズオクト	41,968	4.8%
6	三井デザインテック	21,184	3.6%	6	ジーク	33,446	4.5%	6	ラックランド	40,366	4.6%
7	エイムクリエイツ	20,834	3.6%	7	シミズオクト	31,022	4.1%	7	三井デザインテック	38,471	4.4%
8	船場	20,169	3.5%	8	三井デザインテック	30,985	4.1%	8	高島屋ハースクリエイ	36,365	4.2%
9	バウハウス丸栄	19,822	3.4%	9	船場	30,732	4.1%	9	ジーク	28,585	3.3%
10	高島屋ハースクリエイ	19,075	3.3%	10	高島屋ハースクリエイ	30,250	4.0%	10	船場	28,363	3.3%
上位30社の売上合計		582,384	100.0%	上位30社の売上合計		748,282	100.0%	上位30社の売上合計		871,356	100.0%

※ 上記は当社集計による数値です。

乃村工藝社の事業

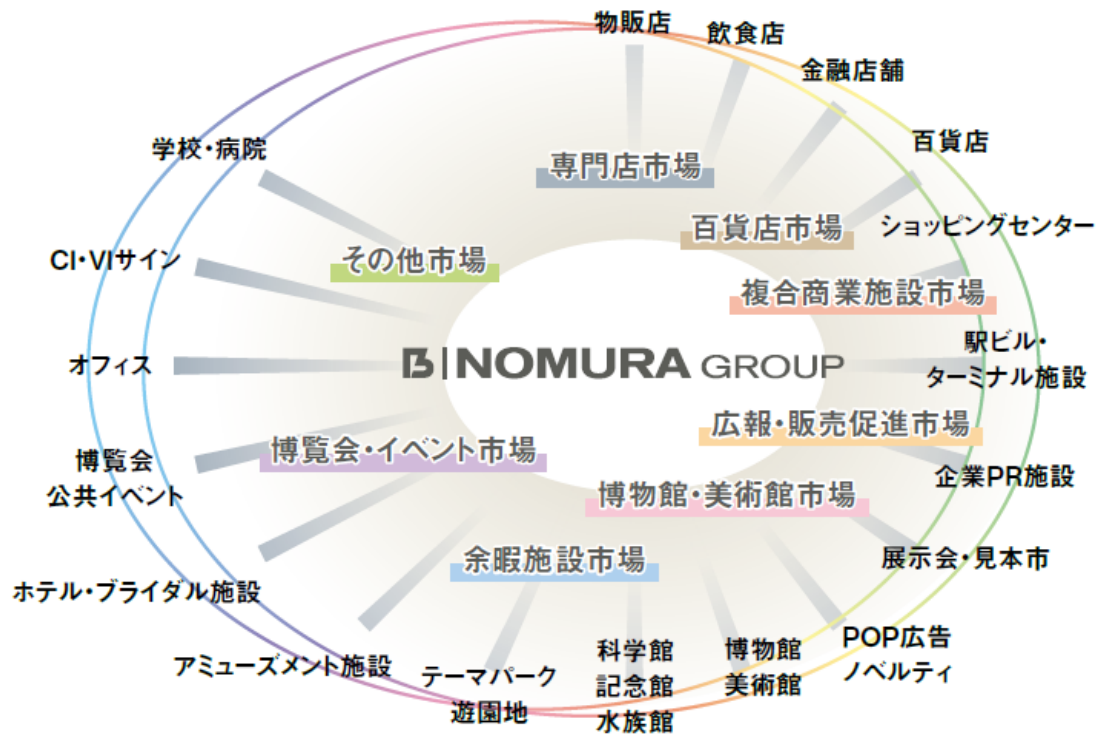
創業以来125年超にわたり「人が集まる空間づくり」をプロデュースしてきた、
集客創造におけるプロデューサー集団

1

調査・企画
・コンサルティング

2

デザイン
・設計



3

制作・施工

4

運営管理

商業施設から、ホテルやオフィスなどの各種施設に加え、博物館・美術館、ショールームなどの展示、
博覧会・イベントといったプロモーション分野まで幅広く展開

乃村工藝社の強み

業界No.1を創り出す3つの強み

① 総合力

国内外で、大型案件を企画から運営まで手掛けられる体制

- ・国内拠点 **10都市**
- ・海外拠点 **8都市**
- ・グループ会社 **10社**
- ・協力会社体制 **500社以上**

② クリエイティブカ

企画・デザインによる差別化

- ・プランナー&デザイナー **610名**
- ・一級建築士 **110名**
- ・デザインアワード受賞数 **49**

③ プロダクトカ

高品質を実現する制作体制

- ・プロダクトディレクター **550名**
- ・一級建築施工管理技士 **271名**

お客様からの高い信頼、安定した顧客群

年間のプロジェクト件数

14,303件

年間の顧客数

2,791社

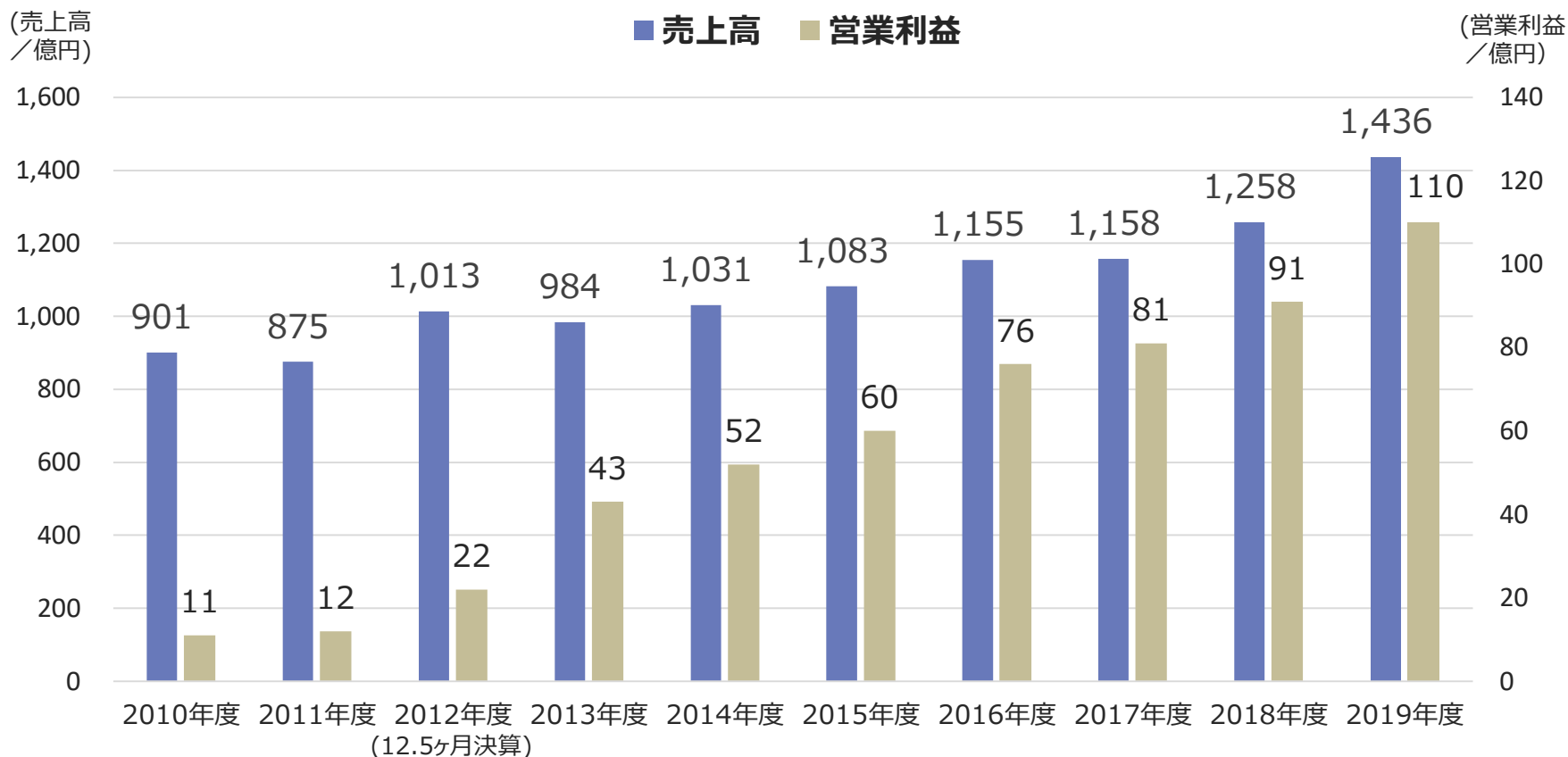
継続顧客の比率

79.5%

各業界の主要
企業がお客様

通期業績の推移

2019年度まで、売上高6期連続増収、営業利益11期連続増益



■ 2011年3月
東日本大震災

■ 2013年9月
2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会決定

■ 2012年5月
東京スカイツリー開業

■ 2016年 訪日外国人が
初めて2,000万人を突破

株式会社 乃村工藝社

(証券コード：9716)

<https://www.nomurakougei.co.jp/>

IR・株式に関するお問い合わせ

経営管理部

(ir@nomura-g.jp)